

令和元年度SSH事業の成果（研究成果報告書として、後日学校 Web に掲載します。）

今年度は、アンケート（ループリック評価表）の見直しを行い、SSH活動によって、生徒の資質・能力がどれだけ伸長したのかを、詳細に調査しました。アンケート結果を分析したところ、SSHを選択している生徒はもちろん、SSHを選択していない生徒についても、「科学的・思考力」、「課題発見・解決力」、「プレゼンテーション能力」、「コンピュータリテラシー」、「グローバルリーダーシップ」のすべての資質・能力が向上したという結果が得られました。これは、1年生全員が「SSH産業社会」において、2年生全員が「総合的な学習の時間・スーパーサイエンス」において探究活動を実施した成果であると考えています。また、「SSH校内成果発表会及び課題研究発表会」において、多くの生徒が発表を行ったことも、資質・能力のさらなる伸長につながっていると考えています。発表会を参観したSSH運営指導員である大学の先生などからも高い評価をいただきました。

次年度は、SSH指定2期目の最終年度です。今年度よりもさらに充実した内容の取組を実施し、会津学鳳高校全生徒の資質・能力を向上させたいと考えています。生徒たちの今後ますますの活躍を期待しています。

【トピックス】

令和元年度SSH台湾海外研修

2019年12月22日～12月26日までの5日間、高校2学年 科目SS選択者のうち希望者28名が台湾の新竹市にある国立清華大学の寮に滞在しながら、台北市立建国高級中学と交流しました。期間中は清華大学や放射光施設研究所での科学技術に関する研修や自然公園での自然環境保全に関する研修、様々な歴史的建造物や故宫博物院での歴史・文化を学ぶ研修を行いました。

《国立清華大学研修》

現地職員の案内のもと、原子力を活用した施設および技術の説明を受けました。また、大学教授による再生可能エネルギーに関する講義を受講し、ディスカッションしました。

《建国高級中学交流研修》

台湾最古の公立高校で様々な交流をしました。現地学生の温かな歓迎のもと、英語の授業への参加やランチ交流、校内ツアーなどを経験しました。また、プレゼンテーション発表を行い、互いの国の歴史や文化、現状、研究課題など様々な点で理解を深めました。

《自然環境や科学技術、歴史・文化を学ぶ研修》

その他、関渡自然公園や放射光施設研究所（NSRRC）、故宫博物院、忠烈祠、台北101、士林夜市、龍山寺、中正紀念堂などを見学し、台湾の科学や文化について体感しました。

《研修の成果》

研修全日程をととして英語をメインとして生活し、生徒一人一人が英語力を向上させました。一方で、高校生との交流で英語力不足を痛感し、課題が見つかりました。また、今後の目標などを語り合い、互いに切磋琢磨する関係も築くことができました。研修後は多くの生徒が“参加してとても勉強になった”“これから将来の目標に向かって頑張りたい”と話し、充実した研修にすることができました。



令和元年度 SSH 研究成果発表会および課題研究発表会

令和2年2月20日(木)に本校第1体育館、第2体育館にてSSH研究成果発表会および課題研究発表会が開催されました。例年SSHだけの研究発表でしたが、今年度から1年SSH産業社会で行った探究活動、2年の課題研究からの発表も行い、日程も半日での開催から1日かけての開催に変更しました。

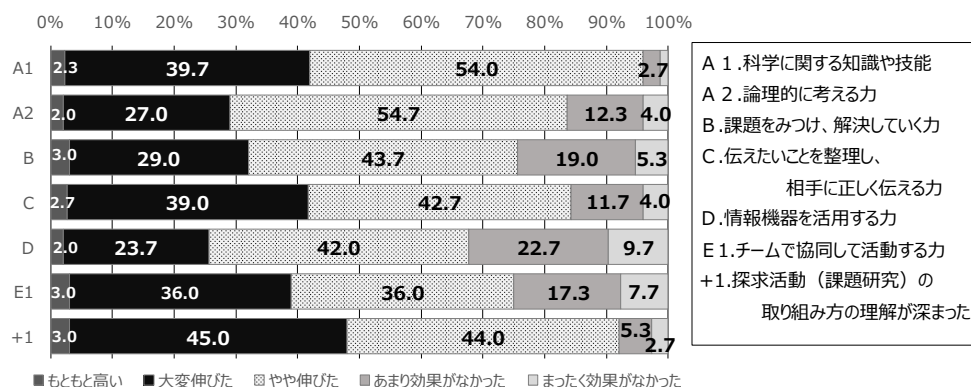
全体の口頭発表は9件【SSH研究発表から4件「水蒸気蒸留を用いたリモネンの抽出」「液状化現象の謎を追う」「ダンゴムシの腸内セルロース分解菌の単離」「ペロブスカイト太陽電池高性能化に向けて」、1年産業社会から2件「なぜイギリスには貴族がいるのか」「人類は異常災害を生き残ることができるのか」、2年課題研究から2件「新小学校英語への提案」「200m平泳ぎで2分20秒をきるためには」、中3RPから1件「海水に強い金属とは」】で、それぞれ工夫したスライドを用いて発表し、質疑応答が盛り上がった発表もありました。



ポスターは53件【SSH研究発表から2年12件、1年14件計26件、1年産業社会から8件、2年課題研究から10件、中3RPから9件】の発表がありました。ポスター発表では「Good Job」シールを用いて生徒たちが積極的に意見を交わしている様子が多くみられました。また、1年SSH産業社会の課題発表は、全員第2体育館で口頭発表をおこないました。様々なテーマで発表をしているので、聴衆者も多くを学べたようです。最後に、Good Job シールが多く貼られたポスターへ、優秀ポスター賞が贈られました。



今回の発表会で得られた成果は以下の通りです。



みなさんお疲れさまでした。

【事務局より】夏休み以降、様々なSSH行事が行われました。10月15日には東北大学の浜田宏教授による「人と社会を横断する数理モデル」のSSH講演会がありました。意外と身近にある数学がわかったのではないのでしょうか。11月には1年SS選択者がオリンパス研修で内視鏡の製造過程や構造について見学し、12月には福島県立医大の先生を招き、その内視鏡を使ってどのようにがん治療を行っているかの講演がありました。11月には科学の甲子園福島県大会でSSH探求部の1年生が総合4位という成績をおさめました。また、11月に行われた福島県生徒理科研究発表ではSSH探求部生物班がポスター部門、物理班が物理部門で最優秀賞を受賞し、来年度の全国総合文化祭自然科学部門への出場権を獲得しました。今後ともSSHの活躍を期待しています。

SSH活動今後の予定

・3月3日(水)

スポット講義(情報)

・3月23日(月)・24日(火)

SSH分子生物学実験